



# 市議会だより

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)



「三保の先」  
三保の海岸から見る富士はまた別格。打ち寄せる波も、広がる空も、すべて富士へとつながる、なんとも雄大さと深い懐を、ただ見ているだけで感じてしまう。その場の匂いや風をどう写し込もうか…ここではいつもそう思ってしまう。そんな一枚。  
撮影場所:清水区三保 撮影者:萩原和幸氏(日本写真家協会会員)

## 9月定例会のあらまし

### ～平成29年度歳入歳出決算を認定～

平成30年9月14日から10月15日までの32日間にわたって、9月定例会を開催しました。

定例会では平成29年度決算を審議しました。また、安心・安全のための対策として、市立小中学校普通教室全室へのエアコンの設置や危険・不適合なブロック塀の対策などに要する経費をはじめ、地方創生推進に向けた、SDGs\*のさらなる普及啓発のための経費などを計上した平成30年度一般会計補正予算や、静岡市手数料条例の一部改正などの議案を審議しました。

9月26日、27日、28日には、17名の議員が総括質問を行いました(2、3面掲載)。

10月15日の最終日には10月2日から5日まで開催した各常任委員会の審査結果が報告され(5面掲載)、表決の結果、すべての市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決、認定し、議員提出議案2件を可決しました(6面掲載)。

※SDGs(エスディージーズ):2015年9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。この目標達成に向けて、国連加盟国は2030年までに「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むこととしている。

## 9月定例会日程

9月14日	本会議(開会)	会期決定、議案上程
9月26日 27日、28日	本会議 (総括質問)	市政全般について質問 委員会付託
10月2日、3日 4日、5日	常任委員会	議案等審査
10月15日	本会議(閉会)	議案上程 委員長報告 討論、表決

## 目次

9月定例会のあらましなど	1面
総括質問	2、3面
主な議案、提出した意見書など	4面
常任委員長報告など	5面
賛否一覧、11月定例会のお知らせなど	6面

### 静岡市のココが聞きたい

## 総括質問



平成30年9月26日、27日、28日の3日間、17名の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

### 清水庁舎移転候補地

質問者 内田 隆典 (共産党)

平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震を教訓とし、また、国が実施した南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ策定された静岡県第4次地震被害想定によると、清水庁舎の移転先を含むJR清水駅周辺は、津波により2～3メートルの深さの浸水が想定されており、同時に液状化の可能性も高く、火災によりほぼ全域が焼失する危険性も指摘される地域である。

移転先としてふさわしくなく、再検討すべきと考えるが、再検討の意向はないか。

**答弁** 有識者や市民の方々と構成される新清水庁舎建設検討委員会で十分に議論を尽くし、現計画地(清水駅東口公園)が妥当であると判断したため、移転先を再度検討する必要はないと考えている。

### 市民文化会館の再整備

質問者 松谷 清 (緑の党)

市民文化会館の再整備におけるホールとアリーナの複合化をどのように考えているか。

**答弁** 再整備に当たっては、これまで市民文化会館が培ってきた芸術文化の継承とともに、駿府城公園を中心とした歴史文化拠点の求心力を高めるための新たな機能として、隣接する中央体育館と連携した国際試合や大規模コンサートが可能なアリーナとの複合化についても検討しているところである。

現在、「駿府町地区文化・スポーツを核としたまちづくり検討委員会」を設置し、専門的かつ多角的な見地から議論をお願いしており、整備方針の決定に当たっては、検討委員会の意見を踏まえ慎重に判断していきたいと考えている。検討委員会には駿府町地区の将来を見据えた大局的な議論を深めていただきたいと考えている。

#### 語句説明

##### 静岡市市長顕彰

スポーツや芸術文化等で優れた成績を収めた者または団体の功績をたたえとともに、その収めた成績、活動等を市民に明らかにすることで、スポーツ・文化等の振興を図ることを趣旨とした表彰制度。

##### 会派名

- 自民党＝自由民主党静岡市議会議員団
- 志政会＝志政会
- 公明党＝公明党静岡市議会
- 共産党＝日本共産党静岡市議会議員団
- 山と町＝「山と町」安全の会
- 緑の党＝緑の党グリーンズジャパン

### さくらももこさんの市への功績

質問者 平井 正樹 (自民党)

漫画家さくらももこさんの市への功績をどのように捉え、また、それをどのような形で表すのか。

**答弁** 「ちびまる子ちゃん」などのさくらももこさんの作品は、国内はもとより海外でも広く読まれ、本市の認知度向上のみならず、作品の舞台を見るために多くの観光客が本市を訪れ、交流人口の増加につながったと認識している。

さらに、22種類のオリジナルイラストの制作などシティプロモーション事業にも惜しみない協力をいただき、本市のPRに大きく貢献していただいた。

そこで、その功績をたたえとともに、さくらももこさんに対する感謝の気持ちを表したいと考え、「静岡市市民栄誉賞」の授与を決定した。

#### 語句説明

##### 静岡市市民栄誉賞

スポーツ、文化等の分野において、広く市民に敬愛され、市民に明るい希望と活力を与えることに特に顕著な業績のあった方にその栄誉をたたえ、贈るもの。平成22年(2010年)に創設。さくらももこさんが初の受賞者となる。



さくらももこさんオリジナルイラストによるウェルカムフラッグ

### 生涯学習施設の利用方法見直し

質問者 望月 賢一郎 (共産党)

生涯学習センターと生涯学習交流館で異なっている利用者団体区分や施設使用料といった生涯学習施設の利用方法の見直しに向けたスケジュールについて、どのように考えているか。

**答弁** 各施設の利用団体等に見直しの説明を行った後、今年度中に関係条例案等を議会へ提出することを目指している。

制度の施行に当たっては、今回の見直しを受けて、使用料の半額負担等が生じることによる各利用団体の規約変更や、利用申請開始日の変更に伴う準備に配慮して、十分な周知期間を設ける予定である。

利用団体の皆さんには、できる限り丁寧な説明を行い、市民の皆さんのご理解が得られるよう努めていく。

### 頑張る子どもたちの活躍の周知

質問者 後藤 哲朗 (志政会)

芸術文化・スポーツの分野で頑張っている子どもたちの活躍をどのように周知していくか。

**答弁** 優れた個人・団体を静岡市市長顕彰で表彰するほか、子どもたちが成績報告のため市長を訪問する際、子どもたちの業績をたたえている。また、本市が後援する書道や絵画、将棋大会などの文化イベントに市長賞を交付している。これらの情報を報道機関へ提供し、新聞報道などを通じたPRに努めている。

今後は新たな試みとして、このような子どもたちの活躍の様子を本市公式SNSやホームページ等で広く発信したいと考えている。

子どもたちがより高い目標を持ち、将来に渡って芸術文化・スポーツ活動が積極的に行われるよう支援を続けていく。

### 小中学校へのエアコン導入の整備順序

質問者 加藤 博男 (公明党)

3年間ですべての市立小中学校の普通教室にエアコンを導入するとしているが、学校の整備順序をどのように決めるのか。

**答弁** 小学校から整備を始めるが、その具体的な整備順序については検討中である。

基本的には、できるだけ多くの児童生徒がいち早くエアコンを利用できるよう設置し、快適な教室環境を提供したい。

今後の実施設計の中で、各学校の児童生徒数や学級数、さらには工事の規模や内容などを総合的に勘案した上で、整備順序を決めていきたいと考えている。

現時点では3年間で整備する計画だが、国の予算編成の状況と事業者の人手確保の状況を踏まえつつ、できるだけ早期に着手していきたい。

### 学校預かり金の公会計化

質問者 山本 彰彦 (公明党)

学校預かり金について、他都市では公会計化しているところもあるが、本市ではどのように考えているか。

**答弁** 学校が独自に保護者から徴収する学校預かり金には、学校給食費のほか教材費や修学旅行積立金などの学年費がある。

その中で、学校給食費の取扱いについては、市立小中学校の現状や課題を整理するとともに、他都市の動向を把握している。30年度中に発表される見込みの文部科学省のガイドラインを踏まえ、本市にふさわしい制度をつくるための検討を進めていく。

その他の学校預かり金についても、文部科学省から先進的な事例の提示が予定されているため、国の動向を注視して、研究していく。

### 学校給食調理員の欠員対策

質問者 水野 敏夫 (志政会)

清水区の学校給食単独調理校等において、調理員の欠員が続く状況に対し、どのような対策を行っているか。

**答弁** 非常勤調理員は、合格者の辞退や応募者が募集定員を下回る等の理由により、26年度から不足する状態が続いている。

その募集は、公共施設等へのチラシ配架、広報紙への掲載、ハローワークへの求人票登録等の方法により周知している。

パートや臨時調理員の募集も同様の方法で周知するとともに、随時、応募者を受け付けている。加えて29年度からは、中央卸売市場や一部商業施設へのチラシ配布、求人情報誌への掲載などPR方法の拡大を行っている。

今後は、調理員から現場の意見を聞き、応募者が働きやすい勤務形態を用意する等、勤務条件の変更等を検討していく。

### 大学との連携による団地活性化

質問者 山梨 渉 (公明党)

市営住宅の空き家を活用し学生に貸し出すことで地域活性化につなげようとする試みが行われている例があるが、大学と連携した団地の活性化について、本市はどのように考えているか。

**答弁** 高齢化等がもたらす担い手不足によって、清掃や防災などの住民が支え合うコミュニティ活動が困難となることは、団地においても危惧されている。

こうした課題を解決するために、本市においても大学と連携し、学生の皆さんに団地のコミュニティ活動へ参画してもらうことは有効な手段であると考えている。

今後は、他自治体の先進事例に学ぶとともに、市内の大学などへ働きかけ、団地の住民と学生双方にメリットがあるような、入居の形態を含む参画モデルを研究していく。

## 市民によるトリアージへの協力

質問者 さいとう 佳代 (自民党)

市民のトリアージ協力について、現状と今後の市の取組はどのようになっているか。

**答弁** 救護所にケガ人が殺到した場合、重症者を優先できるように、医療従事者によるトリアージの前に、市民の皆さんの協力によるケガ人の振り分けが重要となる。

また、被災現場で明らかに重症と判断した場合は、救護所ではなく、直接、災害拠点病院などに搬送する必要がある。

本市では、22年度からNPO法人「災害・医療・町づくり」と協力し、身近な物で行う応急処置や重症者を早く見つけるための市民によるトリアージ協力に関する知識の普及啓発を行っている。今後は、医師会の協力を得ながら地域の救護所訓練で研修を行うなど、さらなる普及啓発を進めていきたいと考えている。

### 語句説明

#### トリアージ

災害時、多数の傷病者が発生した場合に、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うため、傷病者の治療優先順位を決めること。

### 語句説明

#### 滞納処分

税金等を滞納している場合に、滞納となっている税金等を強制的に徴収するため、預貯金・不動産等の財産を差し押え、差し押えた財産を換価し、税金等に充てる一連の徴収手続。

## 国民健康保険料の滞納処分

質問者 鈴木 節子 (共産党)

国民健康保険料の滞納処分の執行停止基準はどのようなものか。また、金融機関からの借入をもって滞納を解消させるような納付指導が行われているのか。

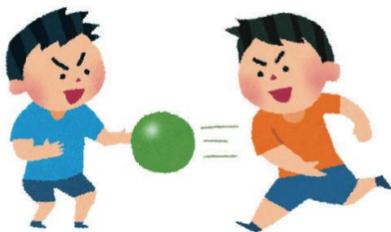
**答弁** 法の規定により、①滞納処分することができる財産がないとき、②滞納処分することによってその生活を著しく窮迫させる恐れがあるとき、③滞納者の所在及び滞納処分することができる財産がともに不明であるとき、これら3つのいずれかに該当する場合に滞納処分の執行停止ができることとされている。本市においても、これらの場合に限り執行停止を行っている。

納付相談により納付計画を作成する中で、延滞金よりも利率の低い借入が可能な場合に金融機関からの借入を提案することはあるが、強制することはない。

### 語句説明

#### 寡婦(夫)控除のみなし適用

住民税の寡婦(夫)控除が受けられない未婚のひとり親家庭に対し、子育てや福祉サービスの利用料等の算定の際に寡婦(夫)控除があったものとみなして取り扱うもの。



## 未婚のひとり親家庭への支援

質問者 長島 強 (公明党)

未婚のひとり親家庭に対する児童福祉制度における寡婦(夫)控除のみなし適用の現状はどうか。

**答弁** 住民税の寡婦(夫)控除を未婚のひとり親家庭に適用するためには、地方税法の改正が必要となる。

そのような中、本市では、ひとり親家庭への支援推進のため、27年度から国に先駆け、子ども・子育て関連事業において寡婦(夫)控除のみなし適用に取り組んできた。

29年度にみなし適用により軽減した利用料等は、保育料、児童福祉施設入所者等負担金、母子家庭等医療費助成である。ひとり親家庭の多くがみなし適用以前に利用料等が軽減されており、みなし適用によりさらに負担軽減となった利用料等は14件である。

## 初めて実施した政策評価の総括

質問者 佐藤 成子 (志政会)

政策評価をどのように総括するか。また、評価への指摘をどう施策へ反映していくか。

**答弁** 政策評価は、政策が多面的であるがゆえに評価者によって評価の視点が異なり、意見の集約に苦慮するなど政策評価制度自体の課題も多くあった。今回の実施過程を貴重な経験とし、引き続き評価委員とも意見交換を行いながら、制度の充実・発展を目指す。

今回の政策評価において、①時勢に応じた政策体系の見直し、②政策の成果を捉えるための適切な指標の設定、の2点が必要という指摘を受けた。①の政策体系に関しては、第4次総合計画策定時に見直しを行う。②の成果指標に関しては、10月から第3次総合計画10分野全ての政策・施策について指標的確性を検証し、第3次総合計画後期実施計画に反映できるよう作業を進めていく。

## 植物園構想の調査研究

質問者 堀 努 (自民党)

植物園設置の新機軸として、動物と植物の循環型システムが構築できる日本平動物園との併設を提案するが、植物園構想の調査研究にどのように取り組んでいるのか。

**答弁** 本市は市民のみどりに対する意識が高いまちであり、植物園は本市の魅力をもっと向上させるツールになる。本市の魅力の世界に発信できる場所として、動物園隣接地は有力な候補地の一つと考える。29年度は全国の主要な公立植物園の状況調査を行い、30年度は観光・学術研究への効果などの調査を進め、31年度は植物園のあり方を静岡市みどりの基本計画へ位置づけるために都市公園審議会等で議論を深めていく。動物園と植物園との相乗効果により、国内外から多くの人々が訪れ、本市の魅力を広く発信できる、世界水準の都市にふさわしい植物園の実現を目指したい。

## リニア建設に伴う環境への影響

質問者 安竹 信男 (山と町)

リニア中央新幹線建設工事に伴い、市が独自に南アルプスで実施している環境調査の目的は何か。また、調査の内容、成果、今後の予定はどうか。

**答弁** ユネスコエコパークの環境保全と地域の持続的な発展を図ることは市の責務であり、工事による環境変化を把握し、適切な環境保全対策を推進するため、現状を事前に調査している。内容は大気質、動植物など多岐にわたり、これまでに大気・水がきれいなこと、騒音・振動が少ないこと、JR東海の現地調査で確認されなかった24種の重要種・指標種の生息・生育等を確認した。動植物調査では、毎年新たな種が確認されているため、今後も継続していく予定である。また、工事開始後も必要な調査を行い、環境変化が認められた場合、JR東海に対応を求めていく。

### 語句説明

#### 政策評価

行政評価の評価対象「政策・施策・事務事業」のうち、政策を対象として、政策効果を把握し、必要性・効率性・有効性等の観点から評価を行い、企画立案や実施の見直し・改善を推進する制度。

本市では、施策・事務事業に加え、30年度に初めて政策評価を実施。

### 語句説明

#### 会計年度任用職員制度

2020年4月から導入される地方公務員の非常勤職員制度。特別職非常勤は「学識・経験の必要な職」、臨時的任用職員は「常勤の欠員対応」と任用を厳格化した上で、それ以外の非常勤の職を一般職の「会計年度任用職員」として法律で規定し、制度の明確化を図ろうとするもの。

## バス運転士不足への取組

質問者 杉本 護 (共産党)

バス運転士の不足に対して、市はどのようなことに取り組んでいるか。また、運転士の不足が運行休止の主な原因と言われている安東循環線と小鹿線の再開の見通しはどうか。

**答弁** バス運転士を増やすため、バス事業者と連携して、自衛隊に対し大型免許を所有する隊員にバス事業者を再就職先として検討してもらい働きかけや、東京の静岡市移住支援センターにおいて移住後の転職先としてバス事業者の紹介を行っている。さらに30年度からは、大型免許を所有する消防職員などにバス事業者を再就職先として情報提供していく。

また、現在休止中の安東循環線と小鹿線について、運行事業者であるしずてつジャストラインからは、現時点で再開に向けた見通しは立っていないと聞いている。

### 語句説明

#### 重要種

天然記念物、種の保存法及び環境省、静岡県版レッドリストに記載された種、国立公園指定植物。

#### 指標種

重要種とは別に、環境調査で市が独自に重要と位置付けた種。



29年度調査で発見されたミヤマスマミレ(重要種)

## 会計年度任用職員制度施行に向けて

質問者 寺尾 昭 (共産党)

会計年度任用職員制度の施行に当たり、公務の運営における職員配置の考え方と施行に向けた今後のスケジュールについてどのように考えているか。

**答弁** 国の考えと同様に、公務は常勤職員が中心となって運営することが原則と考える。また、常時勤務を要するとされる「相当の期間任用される職員を就けるべき業務」については、業務の期間や継続性のみで判断されるものではなく、内容や責任の程度等業務の性質により判断されるものと認識している。

現在は、国から制度導入に向けた課題等に対する技術的助言を受けながら、採用方法や給与額等の制度案を検討しているところである。今年度中に職員組合との協議等を経て、2019年の6月議会までには条例案を提出する。

# 主な議案

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

## 平成29年度決算

### ◇一般会計

前年度に比べて、歳入が318億4,692万円、歳出が306億1,683万円の増額となりました。

(単位:千円、%)

	平成29年度決算額A	平成28年度決算額B	増減額A-B	増減率
歳入 ①	316,284,362	284,437,438	31,846,923	11.2
歳出 ②	309,628,483	279,011,646	30,616,837	11.0
形式収支 ③=①-②	6,655,878	5,425,791	1,230,086	22.7
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	2,103,981	2,031,003	72,978	3.6
実質収支 ③-④	4,551,896	3,394,788	1,157,107	34.1

### ◇公営企業会計

各公営企業会計の決算額は、下表のとおりです。

(単位:千円)

	病院事業会計	水道事業会計	下水道事業会計
総収益 ①	12,684,624	10,346,156	21,537,245
総費用 ②	12,676,824	8,662,995	20,016,281
損益 ③=①-②	7,799	1,683,161	1,520,964
①のうち一般会計補助金 ④	2,300,000	-	-
実質損益 ③-④	△2,292,200	1,683,161	1,520,964

※一般会計、公営企業会計いずれも表中の金額は千円未満を切り捨てているため、差引等が一致しない場合があります。

## 平成30年度補正予算

### ○平成30年度静岡市一般会計補正予算(第3号)

今回の補正予算は、安心・安全として、市立小中学校普通教室全室へのエアコンの設置や危険・不適合なブロック塀の対策などに要する経費のほか、地方創生として、SDGsをさらに推進するための経費などの増額を計上しました。

この結果、補正予算の総額は26億4,918万円の増額となりました。この補正額を加えた累計予算額は3,168億1,828万円です。

## 港湾会館清水日の出センター

### ○港湾会館清水日の出センター条例の一部改正について

港湾会館清水日の出センター及び港湾会館清水日の出センター別館において、指定管理者による利用料金制へ移行することに伴い、所要の改正をするものです。

## (仮称)伊佐布高架橋上部工架設工事

### ○工事請負契約の締結

(主)清水富士宮線(仮称)伊佐布高架橋上部工架設工事を実施するため、工事請負契約を締結するものです。

# 提出した意見書

## 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

本年6月18日午前7時58分に大阪北部で震度6弱を観測した地震では、児童を含む5名が亡くなり、400名以上が負傷した。特に、学校関係では、158人に及ぶ児童生徒が重軽傷を負い、1200を超える学校で校舎等の天井・ガラス等の破損、壁のひび割れ、断水等の物的被害を受けた。

中でも、学校施設のブロック塀が倒壊して下敷きになり児童が死亡したことは大変痛ましく、二度とこのようなことがあってはならない。静岡市においても学校施設の耐震化は進められているが、通学路等のブロック塀は盲点になっている可能性があり、同様の惨事が起こらないよう早急な対策を行うべきである。文部科学省は6月19日に学校施設における塀の緊急点検を要請したが、静岡市においては、学校施設の点検、安全性確保はもとより、児童生徒が利用する通学路についても速やかに点検した上で、安全性確保に向けて改善を図ることが必要である。

については、国が引き続き通学路のブロック塀等の緊急総点検と安全対策を行うことが重要であり、下記の事項について積極的な対応を求めるものである。

記

- 1 全国の通学路も緊急総点検・調査を実施し、工事が必要な場合は、民間事業者とも連携しつつ速やかに実施し、地方自治体に対する技術的・財政的支援を行うこと。その際、一般家庭の塀であっても倒壊の可能性があるなどの場合に支援できる制度を検討すること。また、国土交通省の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金における効果促進事業(C事業)の積極的な活用を図ること。
- 2 学校施設の安全対策に要する費用については、塀の修繕など小規模工事に対する補助制度、法定点検やそれに伴う修繕への補助制度の創設等を検討すること。その際、400万円と定められている文部科学省の公立学校施設の防災機能強化事業における補助対象事業の下限額について弾力的に運用すること。

[提出先:内閣総理大臣、文部科学大臣、総務大臣、国土交通大臣]

意見書とは、地方自治法の規定に基づき地方公共団体の公益に関する事柄について国会や関係行政庁に提出する文書です。  
本市議会でも可決された意見書は国会や関係行政庁に提出されます。  
今定例会で可決された意見書は次のとおりです。

## 第二種免許の受験資格の年齢引下げを求める意見書

第二種免許の受験資格については、21歳以上であり、かつ、原則として普通免許等を受けていた期間が通算して3年以上であることとされている。事業用バス・タクシーの運転免許制度は、昭和31年に第二種免許が導入されて以来、制度の見直しが行われていない。

この間、バス・タクシー車両等について、技術革新や安全運行に対するバス・タクシー事業者の取り組みが強化されている。

人口減少や少子高齢化等により、静岡市はもとより全国でバス・タクシー運転者としての担い手が不足している。静岡市では交通インフラとしてのバス路線の維持ができず、運行を停止する路線まで出てきている。高齢者が増え、市民の足としてのバス・タクシーの需要が今後もますます増大されると予想される中、バス・タクシー運転者を志望する若者を増やすことが必要である。また、運転者が若年の場合は、知識や経験が少ないため、精神的肉体的な負担がかかり、それらへの配慮を行うなど事業者の教育・訓練を強化することが求められている。

については、公共交通としてのバス・タクシーの運行を確保するため、下記の事項について、事業者の教育・訓練だけではなく、国としての安全確保を担保する支援策を講じながら、積極的な対応を求めるものである。

記

- 1 バス・タクシー事業者による安全対策を前提に、第二種免許の受験資格年齢の21歳かつ普通免許等通算保有期間の3年について、それぞれ19歳かつ1年に引下げること。

[提出先:衆参両院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、国家公安委員長]

否決された意見書は次のとおりです。

・被災者生活再建支援制度の見直しを求める意見書

## 「(仮称)静岡市がん克服条例」検討会

がんは死亡原因の第1位であり、2人に1人が生涯のうちに罹患すると言われています。つまりほとんどの市民の方々が、何らかの形でがんに関わっており、がん対策は市民の生命と健康に影響を及ぼす重大な課題となっています。

現在、市議会では、全ての市民の皆さんががんへの知識、理解を深め、がん患者の方々が自分らしく生きることが出来る地域共生社会を実現するために、がんの総合的な施策の強化を推進する条例の制定を目指し、検討会を設け議論を行っています。



第4回検討会の様子

## 委員長インタビュー

常任委員会・特別委員会の委員長へのインタビュー番組がコミュニティFMラジオ局「FM-Hi!!」(76.9MHz)及び「マリンパル」(76.3MHz)で放送されます。

詳しい日程は市議会ホームページをご覧ください。



# 常任委員長報告

## 総務委員会

- \*本市の防災活動や防災体制は他市に誇れるものであるため、**安心・安全なまち静岡**を前面に出したシティプロモーションを行うこと。
- \***しずおか中部連携中枢都市圏事業**では関係所管課や自治体との連携の促進、関係住民への周知、住民同士の理解と交流を促進させること。
- \*計画期間の折返しに来ている**第3次総合計画**は、目指す都市像の実現に向け、全体的な効果や進捗状況及び今後の課題を明確にすること。
- \***高等教育のあり方検討会**での検討に当たっては、地域人材の育成に向けて、こどもクリエティブタウンまあるによる成長過程に合わせたプログラムの取組事例を参考にするとともに、市内大学との連携にも配慮しながら進めること。
- \***新清水庁舎の建設**には危機管理総室や消防局も企画局と連携し、全庁を挙げて市民の安心の確保に取り組むこと。
- \*投資的経費の確保や市税収納率の向上等による安定的な財政運営への努力は評価するが、経常収支比率は上昇傾向にあり、今後新たな公共施設の整備に伴う維持管理費や扶助費の増加も想定されるため、行財政改革の着実な推進や事務事業の見直し等、引き続き**財政運営に努力**すること。

## 観光文化経済委員会

- \***歴史文化のまちづくり**においては、静岡の歴史文化を強く発信する駿府城公園、臨濟寺、建徳寺跡や建徳観音堂などの関連施設へいざなう仕組みを作るとともに、歴史資源を保護するための支援強化を検討すること。
- \***まちは劇場プロジェクト推進事業**について、東京オリンピック・パラリンピックの機運が高まることを利用して、東静岡地区にあるアート&スポーツ/ヒロバのローラースケートパークをより一層国内外へ発信すること。
- \***駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション**がオープンして以来、お堀ランナーが増える傾向にある。防犯面においても有効であるため、関連イベント等を継続しながら、引き続き盛り上げていくこと。
- \***海洋文化都市の推進**について、海洋文化拠点施設や海づり公園の建設、あるいは清水庁舎の新設など、ハード面の取組が進められる中、清水区のまちづくりという視点を持ち、十分に検討しながら進めていくこと。
- \***アンテナショップ開設事業**では、さまざまな課題はあるものの、早期オープンに向けて早急に候補地を選定すること。
- \***環駿河湾観光交流活性化協議会負担金**について、駿河湾フェリーの存続に必要な利用者拡大を図るため、伊豆2市3町との交流事業を本日で展開するなど効果的なPRに努めるとともに、利用料金の設定や総合的な体制づくりにおいても、積極的に県へ働きかけながら、もう一度十分に整理して検討すること。
- \***港湾会館清水日の出センター**は、清水港のランドマークともいえる施設であり、利用料金移行によるサービス低下を防ぐとともに、利用者にとっての利便性や快適性が向上するように改善を図ること。

## 都市建設委員会

- \***地域交通弱者対策事業助成**については、現行のバス路線や、鉄道、タクシーとの共存の必要性を認識し、当該事業を立ち上げようとする地域やNPOと現行事業者が、互いにプラスになる取組を検討すること。
- \***要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業及び建築物耐震補強事業費補助金**については、今後も地震の備えとして推進していくこと。
- \***空き家バンク構築・活用事業費**では、他市の事例等を研究し、制度拡充を検討するとともに、**市営住宅等の空き家の利活用**も検討すること。
- \***急傾斜地崩壊対策事業**では、整備率は県内平均を上回っているが、今後も、国や県に対し、予算確保に向けて積極的に要望していくこと。
- \***道路情報等提供システム事業**では、しずみちinfoにさらに提供できる情報の追加の検討と併せ、河川についても水位情報等を提供できるシステム構築を検討すること。また、異常降雨の頻発・激甚化が懸念されるため、国や県と連携し、今後もソフト対策の拡充を図っていくこと。
- \***入江富士見線桜橋架替事業**について、複数年に及ぶ工事により道路幅員が狭くなるなど周辺住民や道路利用者への影響に配慮した早めの周知や、工事を進める中でも近隣の自治会等からの情報収集に努めるとともに、交差点の安全対策に配慮すること。

## インターンシップ研修生を受け入れました

静岡市では、学生の就業意識の向上及び市政に対する理解の促進を図ることにより開かれた市政を推進することを目的に、学生に対して市における就業体験の機会を提供しています。市議会でも9月14、18、19、20日の4日間、インターンシップ研修生1名を受け入れました。

研修では、清水桜が丘高校で開催された議員と高校生との意見交換会の進行補助のほか、議会だよりの原稿作成、政務活動費の執行状況の確認、議員から依頼された調査の資料収集・作成、本会議時の記録写真撮影など様々な業務を体験してもらいました。

4日間の業務を終えたインターンシップ研修生からは「意見交換会の業務を体験することで議会と市民との関係をより密にするための試みに触れることができ、また調査業務だけでなく、広報業務に取り組んでいる様子を実際に触れながら学ぶことで行政の仕事の幅広さを感じることができました」との感想が寄せられました。



右から議長、インターンシップ研修生、副議長

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の主な意見や要望は次のとおりです。

## 厚生委員会

- \*介護予防把握事業の**フレイルチェック**について、健康長寿の取組として地区社協等と連携を図りながら、S型デイサービスや多くの施設等で実施し、さらに健康維持につなげるよう検討すること。
- \***発達障害の早期発見と支援**について、家族が自発的に相談や診断に来られる雰囲気づくりが重要である。早期の支援・治療が子どもたちの未来を大きく変えることから、力を入れて進めること。
- \***社会福祉法人**について、自主・自立の運営ができるよう引き続き支援するとともに、特定社会福祉法人で特に市から多額の事業委託を行っているものについては、市がどのように関わりを持つべきか、あり方の検討をすること。
- \***保育教諭の確保**について、働きやすく、働き続けたい環境を整備することが重要であるため、保育士の給与面や非正規職員の処遇について改善すること。
- \***浜石野外活動センター**は景観に恵まれた素晴らしい施設であり、健康長寿の観点からの活用も含めて検討すること。
- \***子どもの貧困対策事業**について、子どもに寄り添っている多忙な教職員への、スクールソーシャルワーカーによるサポートが必要である。また、子ども食堂の運営や学習支援事業については、他の部署や民間との連携を図って、より良い事業にすること。

## 市民環境教育委員会

- \***自治会、町内会活動の課題**として、役員等の担い手不足や役員の負担が重いことなどが挙げられている。自治会、町内会の現状調査を行い、課題等を把握すること。
- \***LGBTに関する問題**に対して、市役所窓口での対応マニュアル整備や専門的知識の習得、相談窓口の開設などに積極的に取り組むこと。
- \*市民の皆さんの健康に影響を与える**ヒアリ、セアカゴケグモなどの外来生物の侵入**が報告されているので、徹底した対策を実施すること。
- \***風力発電施設「風電君(ふうでんくん)」**を設置してから、かなりの年数が経過していることから、今後の維持管理を含めた活用方法、更新計画等を策定すること。
- \***奨学金貸与事業**について、貸与型と給付型の両方を実施している例は政令市の中でも珍しく、高く評価している。しかし、奨学金申請が認められなかった例もあることから、子どもたちが経済的な理由で進学を断念することがないように、子どもの立場に沿った支援を検討すること。
- \***特別支援教育における教員の配置**について、教育委員会では国に改善を要望しているが、あわせて、支援員の配置を含む市独自の対応も検討すること。
- \***市立小中学校校舎エアコン設置事業**について、市は最重要施策として進めること。また、地元の事業者には仕事が回るよう配慮すること。

## 企業消防委員会

- \***女性消防職員の増加**に向けた、女性のフンデーインターンシップや指揮隊への女性登用など職域拡大の取組を評価している。引き続き、女性消防職員の増加策に取り組むこと。
- \*救急活動について、高齢化の進展等により、軽微な症状での救急車要請が増えているが、パンフレットの活用などにより、地域に**救急車の適正な利用方法**を周知していくこと。
- \***機能別消防団員**について、団員それぞれの特性を把握することなどによる有能な人材の確保に努めること。
- \***千代田消防署の改修工事**について、千代田消防署は防災、災害対応の拠点であるため、早期完成を求めるとともに、業務に支障が出ないように工事を進めること。
- \***技術の向上や担い手の確保・育成**の観点から、水道技術の継承のため、地元水道事業者へ水道工事が発注されるような人札・契約方法を検討すること。
- \*水道管の更新需要の増加などにより、今後**水道料金の値上げ**が検討される際には、コスト低減などの企業努力とともに、市民に対し丁寧な情報提供を行い、その理解を得られるよう進めること。
- \*下水道事業に関しては、**内水ハザードマップ**について、早急な未実施地区解消と市政出前講座等による啓発活動を進めること。

## 請願・陳情のご案内

市政について、意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

### 請願

議会に提出された請願は、常任委員会等で審査され、その後、本会議で採択または不採択かを決めます。請願書を提出するときは、市議会議員の紹介が必要となります。

### 陳情

議会に提出された陳情は、常任委員会等で審査され、採択または不採択かを決めます。

採択された請願・陳情は、関係機関に送付して、その実現に努力するよう求めます。請願書、陳情書の提出者(代表者)へは、審査の結果を文書で通知します。

詳しくは、議会事務局議事課(☎221-1159)までお問い合わせください。

# 9月定例会提出議案の会派別賛否一覽

9月定例会で審議した市長提出議案35件、議員提出議案3件、請願1件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対)

件名	会派名						議決結果
	自民党	志政会	公明党	共産党	山と町	緑の党	
29年度決算							
静岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	×	認定
静岡市電気事業経営記念基金会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市土地区画整理清算金会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	認定
静岡市公債管理事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市競輪事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市農業集落排水事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市駐車場事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	認定
静岡市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市介護保険サービス会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市中央卸売市場事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市立静岡病院事業債管理事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
静岡市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	×	○	○	認定
30年度補正予算							
静岡市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市介護保険事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正							
静岡市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市老人福祉センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	可決
港湾会館清水日の出センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案							
工事請負契約の締結について((主)清水富士宮線(仮称)伊佐布高架橋上部工架設工事)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の廃止について(大谷改良区恩田原1号線ほか1路線)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の変更について(楠5号線ほか3路線)	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の認定について(大内32号線ほか4路線)	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度静岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度静岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度静岡市下水道事業会計資本剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案							
学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
第二種免許の受験資格の年齢引下げを求める意見書	○	○	○	×	○	○	可決
被災者生活再建支援制度の見直しを求める意見書	×	×	×	○	○	○	否決
請願							
学校(教室、体育館)への空調設備の設置を急ぎ実現することを求める請願	×	×	×	○	×	○	不採択

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(25人)、志政会(9人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)  
 共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、  
 山と町=「山と町」安全の会(1人)、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)

# 11月定例会のお知らせ

会期23日間

開会日	会議名	場所
11月8日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
13日(火)	議案説明会	議場
11月21日(水)	本会議	議場
28日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
30日(金)	本会議(総括質問)	議場
12月3日(月)	本会議(総括質問)	議場
4日(火)	本会議(総括質問)	議場
12月5日(水)	総務委員会 企業消防委員会 市民環境教育委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
6日(木)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
12月12日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
13日(木)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。  
 (最新情報は市議会ホームページでご確認ください。)  
 ※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。



## 本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。  
[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000269.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html)



## 総括質問ダイジェスト版放送

コミュニティFMラジオ局で放送しています。  
**「マリンパル」(76.3MHz)**  
 平成30年12月10日(月)～14日(金)  
 午後8時から9時まで  
**「FM-Hi!」(76.9MHz)**  
 平成30年12月17日(月)～21日(金)  
 午後8時から9時まで



## 市議会だより発行

11月定例会号は平成31年2月1日発行予定です。

## =静岡市議会議員からのお願い=

公職選挙法の規定により、議員が年賀状などのあいさつ状を出すことは制限されております(答礼のための自筆によるものは除く)。そのため、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。

また、同法では、議員からのお中元やお歳暮、地域行事への寄付や差し入れなどの寄付行為も禁止されています。皆さまのご理解をいただきますようお願い申し上げます。

## 静岡市議会ホームページのご案内

市議会ホームページでは議会関連情報を配信しています。  
 ○直近の会議の予定やラジオの放送順序など随時更新しています。  
 ○議長・副議長の活動の一部をご紹介します。  
 ○子ども向けページを設け、市議会についてイラストを交えて解説しています。  
 その他の情報につきましても随時配信しています。

静岡市議会ホームページアドレス

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)

静岡市議会

検索



市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。  
 お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

## 静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

議会総務課 ☎221-1158

議事課 ☎221-1159

調査法制課 ☎221-1481

(編集元) FAX 251-9213